

令和 7 年度事業報告

1. 事業の概要

人口減少と高齢化が進むわが国においては、働く意欲のある高年齢者が年齢にかかわらず、その希望や能力に応じて、活躍し続けられる環境を整備していくことが一層求められており、シルバー人材センターが果たす役割にも大きな期待が寄せられています。

こうした中、当センターでは、地域社会のニーズに応えるため、令和 3 年 3 月に策定された中期計画に基づき、令和 7 年度も会員の拡大や就業機会の確保、安全就業などに取り組んでまいりました。

会員拡大においては、定期入会説明会のほか、随時入会説明会を開催して参加しやすい環境を整えつつ、会員、役職員が一丸となって、会員募集のチラシ配布や会員の口コミによる加入促進に取り組みました。その結果、会員の高齢化などにより退会する会員も多かったものの、多くの新規会員が入会し、年度末会員数は前年度より 3 名増加の 2 6 5 名となりました。

就業開拓については、企業訪問や仕事募集のチラシを利用した広報活動を行ったほか、ポイントカード制度を活用し、会員による受注の拡大に取り組みました。その結果、請負・委任事業の受注件数及び契約金額と派遣事業の受注件数は、前年度を上回りましたが、派遣事業の契約金額については、前年度より下回る実績となりました。

安全就業の面では、就業現場のパトロールを実施するとともに、交通安全教室の開催や、技術向上と安全就業を兼ねた講習会を行う等、会員の事故防止に取り組みましたが、傷害事故が 2 件、賠償事故は 2 件発生し、事故ゼロの目標は達成できませんでした。

普及啓発活動では、機関紙「シルバーふそう」の発行や、ホームページ等により情報発信を行いました。また、1 0 月には扶桑にぎわい祭りに参加し、チラシを配布し、普及啓発に取り組みました。

また、令和 8 年度から令和 1 2 年度までの 5 年間における第 2 次中期計画の策定に取り組みました。

以下、事業目標に対する結果、事業実施報告、会員状況、事業実績、事務事業の主なものについて報告します。

2. 事業目標に対する結果

事業目標に対する結果は下記のとおりです。

(1) 会員数	2 6 5 名	(達成率 82.0%)
(2) 請負・委任事業 受注件数	2, 1 5 5 件	(達成率 78.6%)
(3) 請負・委任事業 契約金額	1 0 9, 6 7 5 千円	(達成率 107.7%)
(4) 派遣事業 受注件数	4 3 件	(達成率 95.6%)
(5) 派遣事業 契約金額	1 7, 7 6 5 千円	(達成率 74.6%)
(6) 傷害・賠償事故	4 件	(達成率 0%)

3. 事業実施報告

(1) 会員の増強

新規会員の勧誘、入会促進に努めた結果、37名の入会、34名の退会となり3名増の265名となりました。

- ① 定期説明会は12回実施、26名参加し19名が入会。随時説明会を18回実施し、20名参加し18名入会しました。
- ② ポイントカード制度を活用し、会員の口コミ紹介による入会の促進を行いました。その結果、9名の紹介があり9名が入会しました。
- ③ デジタルツールを利用し、毛筆ペン講習会等、各種講習会の開催や安全・適正就業強化月間の情報発信を行いました。
- ④ 広報ふそうへの会員募集記事を年4回掲載しました。また役職員によるポスティングを2,200件配布しました。
- ⑤ チラシについては、役場、総合福祉センター、犬山公共職業安定所、いこいの家に設置しました。
- ⑥ 扶桑町老人クラブに講習会の案内チラシやポケットティッシュを設置、配布しました。
- ⑦ 町広報無線にて、入会説明会開催の案内放送を実施しました。
- ⑧ ホームページ、機関紙「シルバーふそう」に会員募集PRを掲載しました。
- ⑨ 扶桑にぎわい祭りに参加し会員募集チラシを51件配布しました。
- ⑩ 退会会員の抑制を目的としたゴールド会員制度では2名がゴールド会員へ変更、2名が退会し8名となりました。

(2) 就業機会の確保

受注の拡大を図るため、パンフレットを利用して役職員が協力をして、就業機会の開拓に努めました。前年度対比、受注件数は47件増の2,155件、契約金額は2,356千円増の109,675千円となりました。

- ① ポイントカード制度を活用し、会員による就業機会の開拓受注を促進しました。その結果、8件の受注がありました。
- ② デジタルツールを利用し、就業案内や作業日程等の調整を行いました。
- ③ 広報ふそう9月号に仕事募集のチラシを折り込み全戸配布しました。また、役職員によるポスティングを2,200件実施しました。
- ④ チラシを公共施設等に設置しました。
- ⑤ 扶桑町老人クラブに講習会の案内チラシやポケットティッシュを設置、配布しました。
- ⑥ 役職員による企業訪問を156件実施しました。
- ⑦ 既存職員による企業訪問を135件実施しました。公共施設へ定例訪問して掘り起こしを図りました。
- ⑧ 軽度生活援助事業「ちょこっとサービス」は前年度対比225件増の306件実施し、円滑な運営に取り組みました。
- ⑨ 機関紙「シルバーふそう」を利用し、会員募集と併せて仕事のPRを掲

載しました。

- ⑩ 扶桑にぎわい祭りに参加し仕事募集チラシを51件配布しました。
- ⑪ ローテーション就業の推進やワークシェアリングの徹底により未就業会員の就業確保に努めました。

(3) 女性委員会の活動推進

女性委員会を設置し、女性会員の拡大及び活動推進等に取り組みました。

- ① リボンフラワー作り講座を開催し、26名の参加がありました。
- ② ボランティア活動は天候不良により中止となったためPR活動は実施できませんでした。
- ③ マダムのお茶会を実施し、27名の参加がありました。

(4) 福祉・家事援助サービス及び子育て応援事業の推進

高齢化、核家族化等により地域における福祉・家事援助サービスや子育て応援事業の要望に応じ、受注件数は前年度対比163件増の387件実施しました。

- ① 町の高齢者福祉サービス事業や高齢者等の生活援助事業を行政と密接に連携を取るよう働きかけました。
- ② 福祉・家事援助サービス事業を351件実施しました。
- ③ 子育て応援事業「ころころルーム」と子供の一時預かり等の子育て支援事業の受注拡充に努め前年度対比57件減の36件実施しました。

(5) 公の施設の指定管理業務の推進

公の施設の指定管理業務については、適切で効果的な管理運営を行いました。

- ① サングリーンハウス及び高齢者作業所（高雄シルバーハウス）の適切で効果的な管理運営を行いました。
- ② 公共施設で指定管理を検討している施設がある場合は、受注できるよう町に働きかけました。

(6) 職業紹介事業の実施

就業を希望する高齢者に対し、職業紹介事業を実施しましたが、紹介依頼紹介希望ともありませんでした。

(7) 労働者派遣事業の推進

会員の就業機会の拡大の観点から、県シ連と連携して労働者派遣事業の拡大に努めました。

- ① 事業実績は、前年度対比、受注件数は3件増の43件、契約金額は1,658千円減の17,765千円となりました。派遣事業受託収益は、290千円減の1,910千円となりました。
- ② 役職員による企業訪問を15回、156件実施しました。

- ③ 既存職員による企業訪問を135件実施しました。

(8) 講習会の実施

高齢者に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会を実施しました。

- ① 果樹剪定講習会に、20名の参加がありました。
- ② 刈払機取扱講習会に、11名の参加がありました。
- ③ チェンソー取扱講習会に、9名の参加がありました。
- ④ 毛筆ペン講習会に、20名の参加がありました。
- ⑤ 襖張り講習会に、6名の参加がありました。
- ⑥ 網戸張り講習会に、7名の参加がありました。
- ⑦ 刃物研ぎ講習会に、7名の参加がありました。
- ⑧ 救急指導講習会に、11名の参加がありました。
- ⑨ 松剪定技術研修会に、11名の参加がありました。

(9) 調査研究及び相談の実施

高齢者の就業率の向上を図るため、会員265名にアンケート調査を実施し129名より回答をいただきました。会員と職員が気軽にコミュニケーションがとれるように取り組みました。

(10) 安全・適正就業の推進

賠償事故2件発生、傷害事故2件発生しました。適正就業については、ローテーション就業やワークシェアリングの推進に努めました。

- ① 賠償事故は草刈り作業で2件、傷害事故は屋外清掃作業で2件発生しました。
- ② 安全委員会で、就業現場の安全パトロールを4回20ヶ所実施しました。
- ③ 会員の交通安全意識を高めるため、交通安全教室を実施しました。
- ④ 事務局だよりやポイントカード制度等を利用して、町の定期健康診断の受診を促し、自主的な健康管理の自覚を促しました。
- ⑤ 健康相談・健康指導を年4回実施しました。また、休養室の健康増進器具ヘルストロンを活用してもらい、373名が利用しました。
- ⑥ 適正就業については、多くの会員に就業機会を提供するため、ローテーション就業やワークシェアリングの推進に努めました。

(11) 普及啓発活動の推進

様々な機会に、センター事業の目的や活動等を、広く町民にPRし、事業の普及、拡大、会員の増加に努めました。

- ① デジタルツールを利用し、毛筆ペン講習会や各種講習会の開催、安全・適正就業強化月間についての情報発信を行いました。
- ② チラシを公共施設等に設置しました。
- ③ 機関紙「シルバーふそう」を年2回（7月、1月）発行しました。また、「事務局だより」を年3回（6月、9月、2月）発行しました。

- ④ センターのホームページを23回更新し、情報を発信しました。
- ⑤ 果樹剪定講習会の記事が尾北ホームニュースに掲載されました。
- ⑥ 扶桑にぎわい祭りに参加し会員募集チラシを51件配布しました。
- ⑦ ボランティア活動は天候不良により中止となりました。
- ⑧ 県シ連と連携した広報活動を実施しました。

(12) 関係機関等との連携強化

町及び関係機関等との連携を強化に努めました。

- ① 町及び関係機関等との連携を強化することにより情報収集を行い、その情報を活用し、会員の就業に繋げるように努めました。
- ② 県シ連及び近隣センターとの連携を強化し、情報収集に努め、事業の発展拡充を図りました。

(13) 独自事業の調査・研究

新たな独自事業の開拓に向け調査・研究をし、就業機会が創出できるように努めました。

(14) デジタル化の推進

会員向けデジタルツール「Smile to Smile」の利用促進を図り、会員への情報発信や業務の効率的な対応に取り組みました。

(15) 第2次中期計画の策定

令和8年度から令和12年度までの5年間における第2次中期計画の策定に取り組みました。